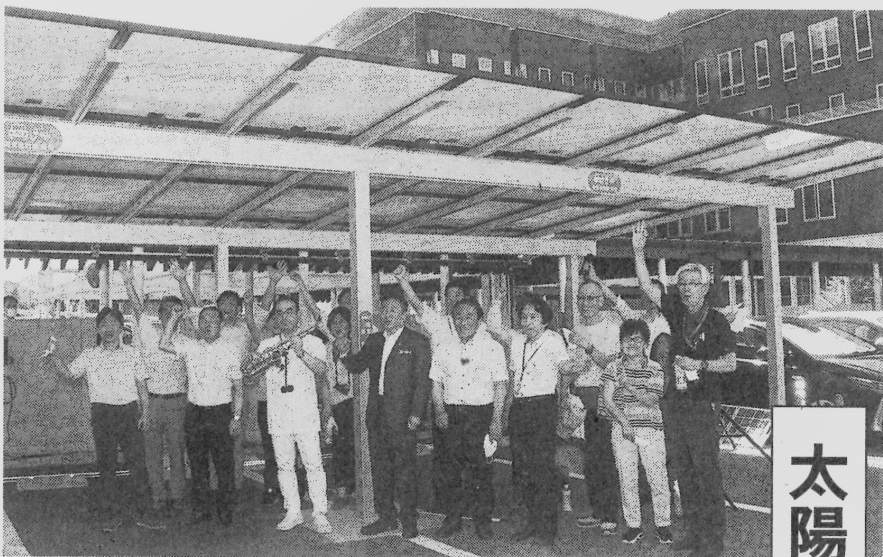


足助病院駐車場に建てられた太陽光発電カーポート。  
MYパワーの再エネ発電計画のショールームだ



# 太陽光発電カーポート

## 山村の集落ごとに設置よびかけ

### MYパワーがショールーム

豊田市山村エリアの地域課題を解決するため、一昨年設立された地域新電力会社「(株)三河の山里コミュニティパワー」通称MYパワーが先月30日、足助病院の駐車場に太陽光発電カーポートの完成披露会を開いた。

豊田市の山村

エリア全体で支払われている電気料金は年間25.5億円。これまでは全て地域外へ流出していた。MYパワーの使命は、この電気料金を地域内にとどめ、地域経済循環を向上させて、地域の課題解決や活性化につなげていくことにある。設立時に豊田市・中部電力との3者で協定を結び、山村エリアにある市営施設の電気契約は既にMYパワーに切り替えられた。今後は民間の企業や住宅に電気契約の切り替えを、お願いしつつ、いよいよ発電事業に乗り出す。

この発電事業はMYパワーが大規模な発電所をつくる形ではなく、地域住民に共感・賛同・出資

してもの、集落ごとに小規模な再生可能エネルギー発電所を広めていく方針だ。今回お披露目した太陽光発電カーポートはそのためのショールームで、MYパワーへの出資金と寄付金(継続募集中)で建てられた。サイズは自動車4台分で建設費用は約500万円。廉価版なら300万円程で建てられるという。今後普及していくEV車やPHV車の再エネ充電施設となる他、充電していない時の電気は病院で使われ、災害停電時には拠り所となる。今後、地域の公共施設や企業への設置、集落ごとの共同設置をしていく場合も同様だ。

MYパワー代表の早川富博さん「足助病院名誉院長」は挨拶で、「広く地域の皆さんに紹介し、賛同・設置して頂ければと思います」「いま私たちがMYパワーの株式の6割を持っていますが、これを地域の人たちに順次お譲りしていきたい。地域の会社として、地域の人が電気を利用する形を目指しています」と話していた。

問合せはMYパワー(0565・61・2773)へ。【新見克也】



# は何処に

コロナ禍での厳しい世相であって大きな光明をもたらしている。同時に彼の原は幼少を経て甲子園を目にした花巻東高であり、その以降変幻しない彼の実行はまさにスポーツと教育の一体となっている。時下、世界はコロナ禍に

翻弄されている。見えない敵の前に人の命と経済の命この二律背反する超難解な壁を打ち破るリーダーは残念ながら存在しない。まして開かれた自由と施策に強制力を持たないこの国にあっては然り。最も恐れるのは誠実さに欠ける為政者として生じている信頼感の欠如だ。弁解に窮して取りあえず陳謝と遺憾の念。次に真摯に丁寧な。くり返される不誠実な政治に大きな不安を感じる。いつの日かコロナ禍は人知に関係なく通り過ぎて行くだろう。その時失った物の多さだけが残る歴史だけは残したくないものである。

さとう・としひろ、佐藤園芸園主、1943年生まれ、豊田市鷺鴨町西屋敷。オイスカ友の会代表。豊田東名ライオンズクラブ元会長、豊田市立上郷中学校・末野原中学校PTA元会長。人生のふり返りに精励中。

この欄へのご感想・ご意見をお待ちしています。弊社ホームページ <http://www.yahagishinpo.com/> E-mail [kikaku-yahagi-s@asahi-net.email.ne.jp](mailto:kikaku-yahagi-s@asahi-net.email.ne.jp) をご利用下さい。